

## データ処理諸条件

本データ処理諸条件は、参照によりPTC パートナーネットワーク契約に組み込まれるものとする。

### 1. データ保護

1.1. 定義: 本データ処理諸条件では、以下の用語は以下の意味を持つものとする。

(a) 「管理者」、「処理者」、「データ主体」、「個人データ」、および「処理」は、適用データ保護法に規定されている意味を持つものとする。

(b) 「適用されるデータ保護法」は、(i) 2018年5月25日より前までは欧州委員会指令95/46/EC「データ保護指令」、および(ii) 2018年5月25日以降は欧州議会の規則2016/679「一般データ保護規則」を意味するものとする。

1.2. 当事者の関係: 当事者は、契約に従い、各当事者が処理に関する本データ処理諸条件（以下、「データ」という）の付録Aに規定されているとおり個人データを他方の当事者に開示することを認める。各当事者は、所有または管理しているデータのコピーを（他方の当事者との共同管理者としてではなく）独立した管理者として処理する。

1.3. 法の遵守: 各当事者は、データを処理する際に適用されるデータ保護法および本条項に基づいてその義務を遵守するものとする。いずれの当事者も、他方の当事者に適用されるデータ保護法を遵守させる責任を負わないものとする。特に、各当事者は、データの処理が合法、公正、および透明であるよう徹底する責任を個別に負うものとし、適用されるデータ保護法の要件を満たす個人情報保護方針をデータ主体に適用するものとする。特に、各当事者は、データを、許可された目的（下記に定義）に限り、パートナーの場合はPTCと、およびPTCの場合はPTC Partner Networkの加入者と共有できることを明示的に表明する。

1.4. 目的の制限: 各当事者は、データ主体に対して与えられる、もしくはデータ主体から与えられる同意もしくは通知との整合性がある、またはそれ以外の場合は適用されるデータ保護法に基づいて許可される、付録Aに規定されている目的のみに従ってデータを処理するものとする。パートナーは、契約の目的に従ってPTCサポートから移転されたデータのみを使用するものとする。パートナーはいかなる状況においても、PTCから提供されていない製品およびサービスの販売促進のためにかかるデータを使用しないものとする（以下、「許可された目的」という）。

1.5. 国際的なデータ移転: パートナーは、データを欧州経済地域（以下、「EEA」という）の域外に移転しない（データを移転することを許可しない）ものとする。ただし、移転が適用データ保護法に準拠していることを保証するためにかかる手段が必要である場合は除く。パートナーは、PTCがすべてのPTC主体間のグローバルデータ移転契約（欧州委員会によって採用された標準モデル条項の条件に基づく）の条件に従って、または欧州データ保護機関によって承認された拘束的企業準則の条件に従って、EEAの外部に個人データを合法的に移転することを許可する適切なメカニズムを導入していることを認める。

1.6. セキュリティ: 両当事者は、所有または管理しているデータのコピーを (i) 偶発的または違法な破壊、および(ii) データの損失、変更、不正な開示、またはアクセスから保護するために適切な技術的および組織的手段を実施するものとする。かかる手段には、少なくとも本データ処理諸条件の付録Bで識別されている手段が含まれるものとする。

1.7. 第三者の処理者: 各当事者は、かかる当事者の代わりに許可された目的のためにデータを処理する第三者の処理者を1人以上指名できるが、以下を条件とする: (i) 付録Bに規定されている手段を最低限満たす、データを保護するために適切な技術的および組織的手段を導入し、適用データ保護法に準拠してデータ主体の権利を保証する処理者を従事させる、(ii) 処理の主題および期間、処理の性質および目的、個人データのタイプおよびデータ主体のカテゴリ、ならびに管理者としての当事者の義務および権利を規定する契約条件に基づいてかかる処理者を従事させ、さらに、かかる契約条件が適用データ保護法によって指定される必須要件を満たしていることを前提とする、(iii) データの受取人が、処理者によるデータの処理が原因で起こる可能性がある本条項または適用データ保護法の違反の責任を単独で負う。

1.8. 協力およびデータ主体の権利: 各当事者は、処理の性質を考慮して、EEAおよび/またはスイスのデータ保護法に基づいて権利を行使する個人に対応して管理者として互いに協力することに合意する。

## 付録A

### データ主体

処理されるデータは、以下のカテゴリのデータ主体を対象とする。

以下のカテゴリのデータ主体に関連するデータ:

- 各当事者の従業員
- 顧客および見込み顧客の従業員、ならびにトレーニングコースに参加する学生

## 個人データのカテゴリ

氏名、会社名、組織名、取引相手の詳細、ログファイルやインシデントレポートなどのPTCの製品およびサービスとのやり取り、トレーニング記録およびPTCの製品によって処理される可能性のあるデータ、ならびに個人がPTCと共有する可能性があるその他の個人データ。

IPアドレス、クッキー（Cookie）データ、デバイス識別子、および同様のデバイス関連情報。

## 許可された目的

PTCのソフトウェアおよびサービスを見込み顧客に販売促進し、かかるソフトウェアおよびサービスを顧客および顧客従業員に提供する。かかるソフトウェアおよびサービスには技術サポートおよびトレーニング、ライセンスコンプライアンスを含むがこれらに限定されない。

パートナーの従業員のトレーニングおよびパフォーマンス管理ならびにパートナープログラムの履行を含む、PTCとパートナー間の関係を管理する。

移転されたデータは、以下の受取または受取人のカテゴリに対してのみ開示できる：

PTCのグループ会社およびPTCのサブプロセッサー。

---

## 付録B

### 最低限の技術的および組織的セキュリティ対策の説明

---

- 以下を含むユーザー認証プロトコルの保護：
  - ユーザーIDおよびその他の識別子を管理する。
  - パスワードを割り当てて選択するために合理的に安全な手段を提供する（または生体認証もしくはトークンデバイスなどの代替認証技術を使用する）。
  - かかるパスワードが保護するデータのセキュリティを損なわない場所および／または形式でパスワードが保持されるよう徹底するためにデータのセキュリティパスワードを管理する。
  - アクセス権の付与対象をアクティブなユーザーおよびアクティブなユーザーアカウントに限定する。
  - ユーザー識別用のアクセスの試みが複数回失敗した後にアクセスをブロックするか、特定のシステムに対するアクセスを制限する。
  - 個人情報が含まれるレコードおよびファイルへのアクセス対象を、職務を果たすためにかかる情報を必要とするユーザーに限定する。
  - ベンダーによって提供されるデフォルトのパスワードではなく、アクセス管理のセキュリティの整合性を保持するために設計された一意のIDおよびパスワードを、顧客アクセス権を持つ各ユーザーに割り当てる。
- パブリックネットワーク内でやり取りされる個人情報を含むすべての送信対象レコードおよびファイルを（技術的に実現可能な範囲で）暗号化するとともに、無線で送信されるすべてのデータを暗号化する。
- 個人情報の不正な使用またはアクセスに対処するために合理的な監視システムを導入する。
- ラップトップその他の携帯デバイスに保存されているすべての個人情報を暗号化する。
- 個人情報の整合性を保持するために設計された、インターネットに接続されたシステム上の個人情報が含まれるファイルを対象とした合理的に最新のファイアウォール保護およびオペレーティングシステムのセキュリティパッチを提供する。
- マルウェア保護ならびに合理的に最新のパッチおよびウイルス定義が含まれる必要があるシステム・セキュリティエージェント・ソフトウェアの最新バージョン、または合理的に最新のパッチおよびウイルス定義を使用して継続サポートが可能な最新のセキュリティ更新を定期的に取り取るよう設定されたかかるソフトウェアのバージョンを提供する。
- コンピュータセキュリティシステムの適切な使用方法および個人情報のセキュリティの重要性について従業員を教育およびトレーニングする。
- PTCにサービスを提供することによってシステムにアクセスできる可能性があるが、データ処理サービスを提供していない第三者が同等レベルのセキュリティを保証するよう徹底する。